

園芸作物の安定生産のためには、 花粉交配用みつばちの適正な管理が必要です！！

1. 巣箱はハウスの外に設置し、ハウスと巣箱出入口との間隔は15cm以上離しましょう。
2. ハウス内で薬剤散布を行う際は、ハウスみつばち用出入口を塞ぎ、巣箱に薬剤がかからないようにしましょう。
3. 薬剤散布後はハウスの換気に努め、薬剤影響期間以上、日数が過ぎたことを十分確認のうえ、放飼しましょう。



薬剤散布時の巣箱設置例
出入口にベニヤ板（90cm四方を目安）を設



適正管理を
お願いしますね。

平成27年9月

長崎県・長崎県みつばち連絡協議会

TEL: 095 - 895 - 2954 (事務局 県畜産課)

詳細な管理方法については、裏面の長崎県養蜂協会作成チラシを参照ください。

ミツバチの適正な管理方法

長崎県養蜂協会

ハウス内でミツバチを使用する場合は、以下の点に注意し、適正に管理してください。

1. 巣箱を置く最適な場所

冬季は巣箱内が12℃を下回ると、ミツバチの活動が鈍くなるため、日当たりの良い南面に置くようにしましょう。

巣箱はハウスの外に置き、日当たりが良く、30℃以上の高温にならない場所に置きましょう。

巣箱は人が近づきにくい、静かな所に置きましょう。

ハウスとミツバチの巣箱の間隔は15cm以上離して置きましょう。



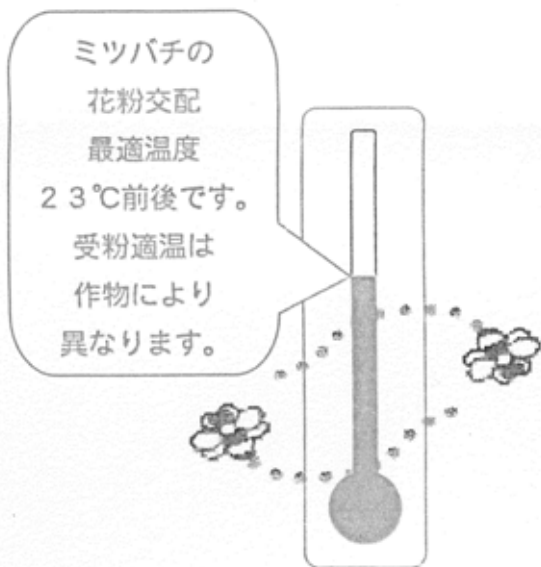
2. ミツバチの管理の仕方

ミツバチの花粉交配に最適な温度は、23℃前後です。

巣箱を一度置いた場所から動かすとミツバチが戻ってこられなくなります。

設置する前に位置を決めて、その後は動かさないようにしましょう。

紫外線カットフィルムで被覆したハウスでは、ハウス内のミツバチが紫外線を検知することができず、位置を正確に把握できずに飛べなくなるので注意しましょう。



3. 薬剤散布時の注意点

ミツバチは薬剤に弱いので、巣箱は必ずハウスの外に置きましょう。

薬剤散布前には、ベニヤ板やビニール等で出入り口をふさぎ、薬剤等がミツバチに届かないようにしてください。

(殺菌剤でも同様)

薬剤散布後は、ハウス内の換気に努めましょう。

薬剤の種類により、残効性が異なりますので、薬剤の影響日数を確認の上、放飼してください。

